

心理臨床学研究科心理臨床学専攻の目的と特色

《目的》

多種多様な心理的不適応現象が日常化している現代社会では、医療、福祉、教育、行政、司法、産業などあらゆる分野で、「心や行動の問題とその解消」について高度に専門的な知識と技能を持つ心理職に対する要請が極めて強くなっています。

本研究科は、人間関係学部心理臨床学科を基礎学科とし、臨床心理学の基礎・関連・応用・実践の4領域にわたって専門的教育を行い、深い人間理解と心理臨床に関する実践力を身につけた、現場に役立つ公認心理師(国家資格)と臨床心理士を養成することを目的としています。

《特色》

本研究科・専攻は、現場で役立つ公認心理師(国家資格)、臨床心理士の養成を目的として、そのために必要な心理臨床学の専門性を1研究科1専攻として統一の呼称で組織化していることを特色とします。このことについて、(公財)日本臨床心理士資格認定協会は、本研究科・専攻を「臨床心理士」受験資格にかかる第1種大学院として指定するにあたり、平成18年4月20日付の文書で全指定大学院146校中唯一のモデル的組織であると評価しています。また、本学は平成29年に施行された公認心理師法にも対応しており、公認心理師国家資格試験の受験資格も取得できます。

本研究科・専攻では、この明確な統一の専門性の基に、実践力のある公認心理師及び臨床心理士を養成するために充実した教育を行っています。なお臨床心理士の有資格者14人を教職員として配置しています。

心理臨床学研究科心理臨床学専攻のアドミッション・ポリシー

本研究科・専攻では、臨床的プラクティスをキーワードに、医療・福祉・教育等の現場が求める心理臨床家としての専門性を習得させるため、基礎的・専門的・応用的・実践的な教育研究を重視し、それぞれの分野における児童期、青・壮年期、高齢期等の各発達段階にある人びとの心理的・行動的・社会的な諸問題に幅広く柔軟に対応できる人材の養成をめざしています。

本研究科・専攻が求める院生は、深い人間理解と専門的技術の習得に意欲を持ち、実践的な高度専門職業人をめざす人です。

公認心理師受験資格

◎公認心理師受験資格(※)の取得を希望する方へ

心理臨床学研究科では修了時に公認心理師受験資格を得られます。ただし、公認心理師受験資格には本研究科での学修に加えて、指定された科目の修得が大学においても必要です。本研究科の入学資格および入学試験においては、大学における公認心理師受験資格に必要な指定された科目を修得しているかは審査しませんので、出願者自身の責任において大学で必要な科目を修得しているかを必ず確認してください。大学で必要な科目を修得しているかは、(在籍卒業)大学に問い合わせてください。本研究科入学前の学修歴によって公認心理師受験資格が不認定となる場合、本研究科は一切の責任を負いません。なお、臨床心理士資格は大学における修得科目に関係なく、従来どおり本研究科の修了により資格試験を受験することができます。

(※)公認心理師法付則第二条第三項：施行日前に学校教育法に基づく大学に入学し、かつ、心理学その他の公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令・厚生労働省令で定めるものを修めて卒業した者その他その者に準ずるものとして文部科学省令・厚生労働省令で定める者であって、施行日以後に同法に基づく大学院において第七条第一号の文部科学省令・厚生労働省令で定める科目を修めてその課程を修了したものの。

カリキュラム

現場に役立つ高度専門職業人の養成という観点から、医療・福祉・教育等の各領域における心理士としての職務に十分耐えうる知識と技能の習得とともに、それぞれの領域を超えてさまざまな心の問題に適切に対応できるように、臨床学を学ぶ者にとって共通に必要な基礎科目、その基盤となる臨床心理学関連科目及び各現場の要請に応える応用的科目並びに実践的な科目でカリキュラムを編成しています。

臨床心理基礎科目群 | (基礎的学習領域)

臨床心理学特論 I
臨床心理学特論 II
臨床心理面接特論 I (心理支援に関する理論と実践)
臨床心理面接特論 II
臨床心理査定演習 I (心理的アセスメントに関する理論と実践)
臨床心理査定演習 II
臨床心理学研究法特論
心理療法特論
行動療法特論
力動的心理療法特論
投映法特論

臨床心理関連科目群 | (関連する学習領域)

心理学研究法特論
心理統計法特論
発達心理学特論
学習心理学特論
社会心理学特論
家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)
犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)
教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)
障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)

臨床心理応用科目群 | (応用的学習領域)

健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)
精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)
心身医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)
高齢者臨床心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)
コミュニティ心理学特論
社会病理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)
学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)
グループアプローチ特論
産業組織心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)

臨床心理実践科目群 | (実践的学習領域)

臨床心理基礎実習
臨床心理実習 I (心理実践実習)
臨床心理実習 II

()内は公認心理師関連科目である